

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年11月28日

計画の名称	水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進（期）											
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	広島市											
計画の目標	広島市は、水と緑が輝くうらおいのある国際平和文化都市の実現を目指し、豊かで美しい自然環境を生かしつつ、安全、快適で美しい都市景観を有する質の高い都市環境の創造に取り組んでいる。 近年の地球温暖化やヒートアイランド現象等の環境問題への対応及び災害時における避難場所として公園緑地が大きな役割を果たすことが期待されており、都市における公園・緑地の更なる整備を進める。 また、平和記念公園においては、市民はもとより多くの来訪者があることから、来園者の安全と利便性の向上に資する整備を推進することで安全で快適な都市環境の形成を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,071	A	1,071	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R9末
1	都市における水と緑の公的空間である都市公園面積をR5年度からR9年度までに一人当たり0.03㎡増加させる。 市民一人当たりの都市公園面積 (市民一人当たりの都市公園面積) = (市内の都市公園面積) / (広島市の都市計画区域の人口)	791㎡/百人	㎡/百人	794㎡/百人
2	平和記念公園における改良が必要な舗装の整備率を増加させる。 計画期間内に必要な舗装改良を実施した面積の割合 (舗装改良を実施した面積の割合) = (舗装改良を実施した面積) / (舗装改良が必要な面積)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	広島市	直接	広島市	-	-	都市公園事業(河岸緑地)	東部河岸緑地、西部河岸緑地 計画延長47.7km	広島市						1,015		-
	A12-002	公園	一般	広島市	直接	広島市	-	-	都市公園事業(平和記念公園)	舗装改良 公園面積A=12.2ha	広島市						56		-
											小計						1,071		
											合計						1,071		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	40				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	40				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	6				
翌年度繰越額 (f)	34				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進（ 期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考図面) 都市公園・緑地等事業

計画の名称	水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進 (IV期)		
計画の期間	令和5年度 ~ 令和9年度 (5年間)	交付対象	広島市

